

豪雨災害 — 響く呼びかけ、動く働きかけ —

矢守克也（京都大学防災研究所）

1 豪雨災害からの避難：3つのキーワード

- ・いつ：「避難スイッチ」
- ・どこへ：「セカンドベスト」
- ・「空振り」改め「素振り」



2 いつ：「避難スイッチ」

- ・情報ではなく情報と行動の橋わたし（結びつけ）
  - ・福岡県朝倉市の事例
  - ・秋田県大仙市の事例
  - ・兵庫県宝塚市の事例
  - ・京都府福知山市の事例
- ・3つの素材：身近な異変、（狭義の）情報、人からの働きかけ（声かけ）
- ・3つのポイント：「予め（前もって）」、「みんなで」、「具体的に」
- ・「既往最大」と犠牲者数の関係



3 どこへ：「セカンドベスト」

- ・100点満点（だけ）ではなく、60点（及第点）を目指す
  - ・京都府京丹波町の事例
  - ・岡山県倉敷市の事例
- ・ハードルを下げた避難訓練
  - ・避難困難者は避難訓練参加困難者
  - ・「2階まで訓練」／「玄関まで訓練」／「お誘い型訓練」／「お試し避難」
  - ・高知県黒潮町の事例



4 「空振り」改め「素振り」

- ・「骨折り損の草臥れ儲け」ではなく「訓練、予行演習、ドリル」
- ・岡山県備前県民局のキャンペーンビデオ
- ・京都府綾部市の事例

（参考図書）矢守克也（著）「防災心理学入門」（ナカニシヤ出版）

